

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AL232／ドイツ語圏文化概論 2 (Introduction to Cultures in German Speaking Areas 2)		
担当者名 (Instructor)	吉田 治代(YOSHIDA HARUYO) 宮崎 麻子(MIYAZAKI ASAKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ART1800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

ドイツ語圏の文学、文化、言語の歴史と現在に関する基礎知識を学び、今後4年間の勉学全てに共通する重要不可欠な基礎知識を習得する。

Students will learn fundamental knowledge about the history and the present state of literature, culture, and language in the German-speaking sphere, and will acquire indispensable fundamental knowledge that will apply to all studies over the next 4 years.

授業の内容 (Course Contents)

狭い意味でのドイツ(現在のドイツ連邦共和国)に限らず、歴史的にドイツ語圏といえる地域について、その現代の文学や文化を、広く講義する。その中で、若干のトピックを選んで掘り下げるとともに、分析や説明のためのさまざまな視点を紹介する。前半は吉田が、後半は宮崎が担当。

In addition to Germany in the narrow sense (i.e., the current Federal Republic of Germany), the lectures will broadly cover the language, literature, and culture in regions that have historically constituted the German-speaking sphere, from the start of modernity to the present age. Within this, the course will select and delve into a number of topics, introducing various perspectives for analysis and explanation. The classes will be led by Yoshida in the first half and Miyazaki in the second half.

授業計画 (Course Schedule)

1. 履修上の注意:
亡命とドイツ文化 1
2. 亡命とドイツ文化 2
3. 戦後ドイツと過去の克服 1
4. 戦後ドイツと過去の克服 2
5. 「1968年運動」と西ドイツの変化 1
6. 「1968年運動」と西ドイツの変化 2
7. 小テスト1(吉田担当部分)
8. 東ドイツの文化(1)
9. 東ドイツの文化(2)
10. 現代文学(1)
11. 現代文学(2)
12. 文学・文化史におけるジェンダーの問題(1)限定された「女性作家」の役割
13. 文学・文化史におけるジェンダーの問題(2)近代文学における女性像の例
14. 小テスト2(宮崎担当部分)

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

事前に配布する授業の資料(ハンドアウト)を必ず読んで授業に臨むこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

リアクションペーパー(35%) / 出席態度および理解度(30%) / テスト・期末課題(35%)
前後半合わせて欠席3回で成績評価の対象としない。

テキスト (Textbooks)

資料を配布する。詳細は授業内で指示する。

参考文献 (Readings)

1. 手塚富雄・神品芳夫、『ドイツ文学案内』、岩波書店
2. 若尾祐司・井上茂子、『近代ドイツの歴史』、ミネルヴァ書房
3. 新野守広他、『知ってほしい国ドイツ』、高文研
4. 石田 勇治 編、『ドイツ文化事典』、丸善出版

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)